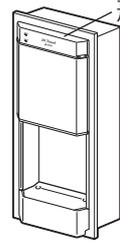




1905873HK2905



形名表示位置

ハンドドライヤー **ジェットタオル**® ビルトインタイプ  
形名

JT-BC107B 交流100V専用

据付工事説明書

**販売店・工事店様用**

■ 据付工事を始める前に必ずこの据付工事説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は第二種電気工事士が行ってください。

別冊の「取扱説明書」・「使い方シール」はお客様用です。必ずお渡しください。

# 1.安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----------	----------------------------------	-----------	------------------------------------

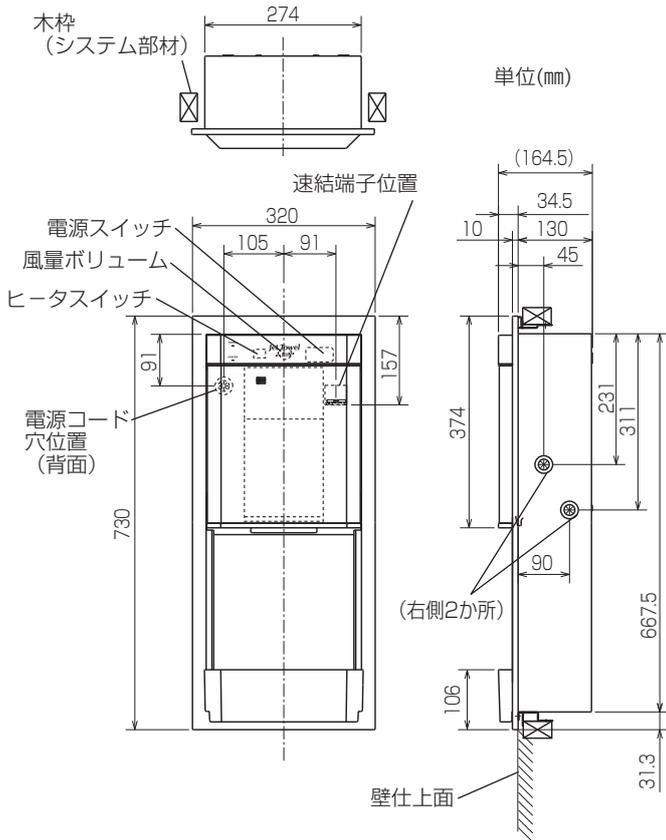
● 図記号の意味は、次のとおりです。

<b>禁止</b>	<b>分解禁止</b>	<b>風呂・シャワー室での使用禁止</b>	<b>指示に従い必ず行う</b>	<b>アース線接続</b>
-----------	-------------	-----------------------	------------------	---------------

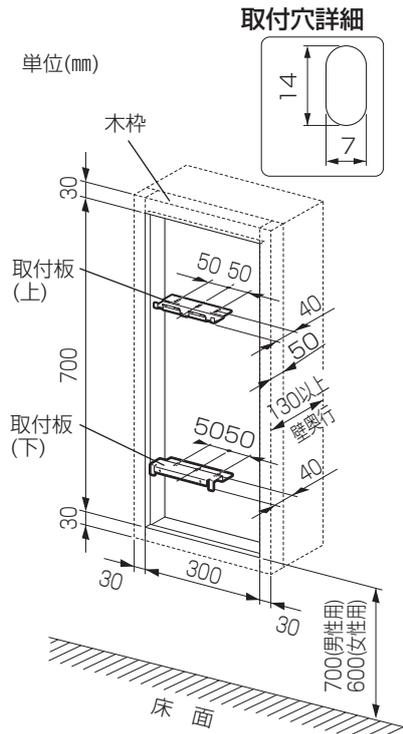
## 警告

	● 可燃性ガスの雰囲気中には据付けない ヒーターの素子破壊による火災のおそれがあります。		● 浴室など湿気の多い場所や、結露する場所・直接水のかかる場所には据付けない 感電、故障の原因になります。
	● 改造や必要以上の分解はしない 火災、感電、けがの原因になります。		● アース工事〔D種接地工事〕を確実に実施する 確実に実施しないと故障や漏電のとき感電するおそれがあります。
	● 交流100Vを使用する 間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因になります。 ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って確実に、専用配線とする 間違った配線工事は感電や故障のおそれがあります。 ● 漏電しゃ断器を必ず取付ける 取付けないと感電するおそれがあります。 ※ 漏電しゃ断器推奨品（地絡保護用）…… 三菱電機製NV-G2N（単相2線式、定格電圧AC100-200V両用、定格電流30A、定格感度電流15mAタイプ）		● 専用配線（電源コード）に通電した状態で据付工事をしない 感電するおそれがあります。
			● 本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがをするおそれがあります。 ● 据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがをするおそれがあります。

# 2.各部のなまえと外形寸法図

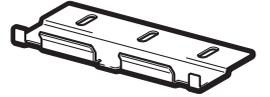


## ■木枠と取付板詳細



## 付属部品

取付板(上)…………… 1個



取付板(下)…………… 1個



固定ネジ…………… 6本  
(5×30タッピング1種)



取付ネジ…………… 2本  
(4×10)



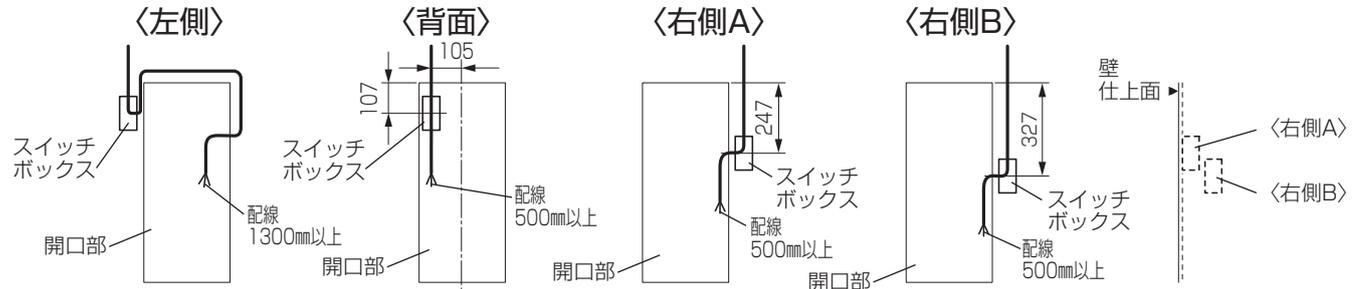
使い方シール…………… 1枚



既築の場合は木枠の外寸法プラスα  
(スイッチボックス等)で壁穴をあけてください。

## ■スイッチボックス

(JIS C 8340 1個用カバーなし) と配線位置



# 3.据付場所と位置

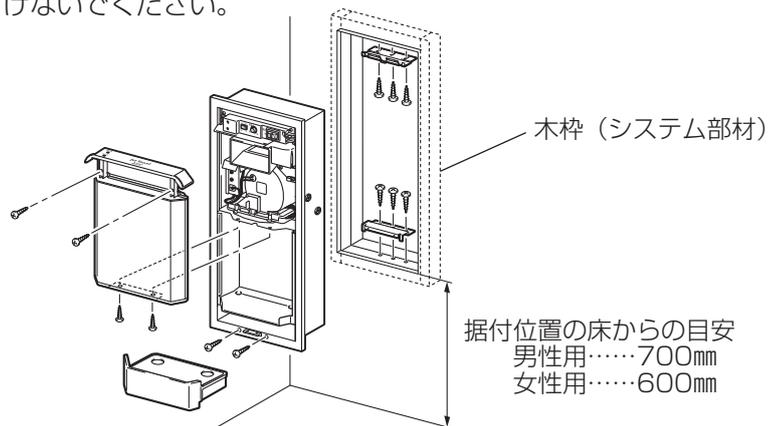
次のような場所には据付けない

(故障の原因になります)

- 0℃未満になる場所
- 40℃以上になる場所
- 結露する場所
- 直接水がかかる場所
- 腐食性・中性・還元性ガスが存在する場所
- 日光・強い光が当たる場所  
(センサーが誤動作するおそれがあります)
- 塩害地域
- 乗りもの

据付位置について

- 下図の位置に据付けてください。  
据付け高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。
- 水滴が飛ぶおそれがありますので、食材、食器等の近くには据付けないでください。



# 4.据付方法

据付工事の際は

専用配線に通電状態で据付工事をしない

ステンレス表面を傷つけないよう取扱う

## 1 木枠の固定

1. 壁に木枠(システム部材)を固定する。
  - 現地状態に合わせ確実に固定する。

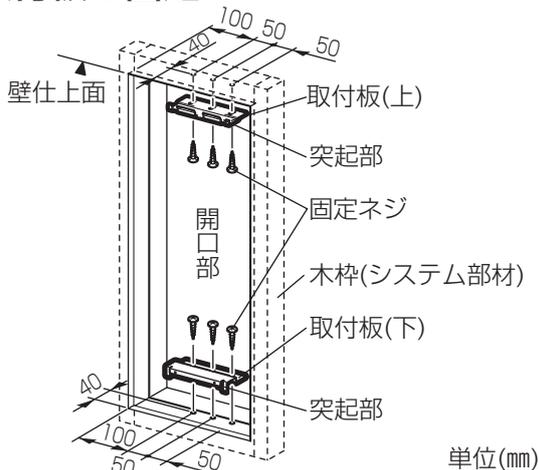
**お願い** ● 壁奥行方向は130mm以上確保してください。

## 2 電源コードの配線

1. 前ページのスイッチボックスと配線位置を参照し電源コードを配線する。
  - 電源コードは、φ2またはφ1.6のVVFケーブルを使用してください。

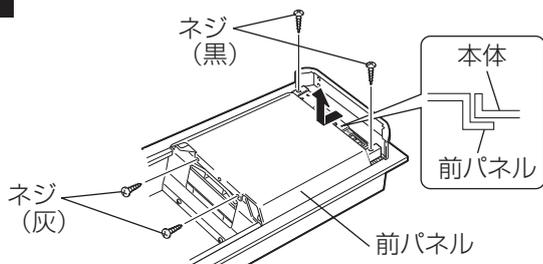
**お願い** ● 電源コードの配線長さが11mを超える場合は、電圧降下を考慮してφ2のVVFケーブルを使用してください。

## 3 取付板の固定



1. 取付板(上)・取付板(下)の位置決めをする。上図のネジピッチで印をし下穴をあける。
2. 取付板(上)(下)の突起部を壁仕上面につきあてて、固定ネジ各3本に防かび仕様のシール材を塗布した後、ネジ固定する。(突起部が浮いていると製品が壁仕上面に密着しません)

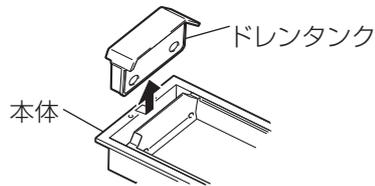
## 4 前パネルをはずす



1. ネジ4本をはずして、前パネルを本体からはずす。
  - ネジ(黒)はスイッチカバーを開けてはずす。

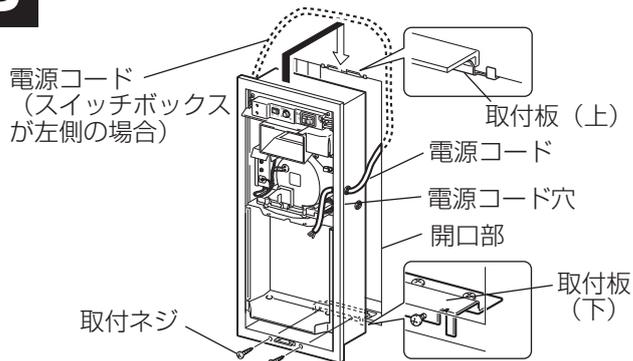
**お願い** ● はずしたネジは無くさないよう保管してください。取付けのとき使用します。  
● 前パネルは重いので、落下や回りの部品に当たって傷つけないよう注意してください。

## 5 ドレンタンクをはずす



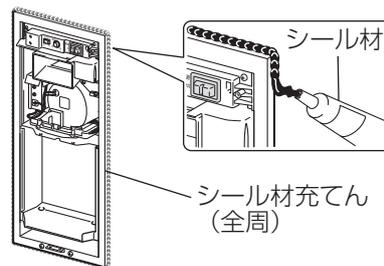
1. 手前に引いてドレンタンクを本体からはずす。

## 6 本体の固定



1. 本体を開口部下側にのせ、電源コードを本体内に引き込む。〈背面〉・〈右側A〉・〈右側B〉の穴使用
  - スwitchボックスが左側の場合は、電源コードを本体上部から右側ブッシュへ回す。
2. 本体を取付板(上)に引っ掛ける。
3. 本体を押しながら付属の取付ネジ2本で取付板(下)に固定する。

## 7 シール材を充てんする

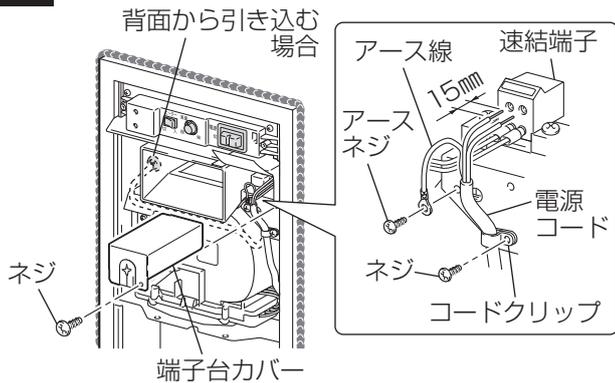


1. 製品外周と壁のすき間に防かび仕様のシール材を充てんする。
  - シール材を充てんしないとすき間より水が浸入し壁面を汚します。

次ページにつづく

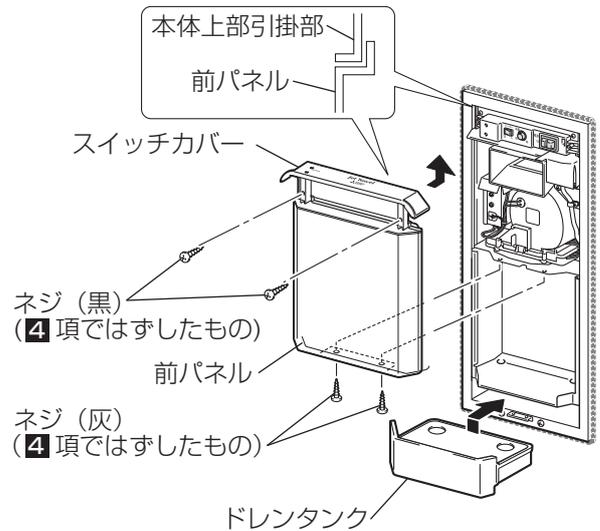
## 4.据付方法 つづき

### 8 電源コードの接続



1. 端子台カバーのネジ(1本)をはずし、端子台カバーをはずす。
2. 電源コード(アース線付)の電線被ふくを15mm皮むきする。
3. 皮むきした芯線を速結端子に確実に差し込む。(極性なし)
4. アースネジを利用してアース線を接続する。
5. 速結端子への結線を軽く引っ張って抜けないことを確認する。
6. コードクリップを一旦はずし、電源コード(アース線付)を通し、ネジで固定する。
  - 速結端子に力が加わらないように、電源コードをたるませてください。
7. 端子台カバーを元通り取付け、ネジ(1本)で固定する。

### 9 前パネル・ドレンタンクの取付け



1. 前パネルを本体上部の引掛部に引っ掛ける。
2. 4項ではずしたネジ4本を締め付け、前パネルを本体に固定する。
  - スwitchカバーを開け、ネジ(黒)2本を締め付ける。
  - 下側はネジ(灰)2本を締め付ける。
3. ドレンタンクを本体に差し込む。

## 5.試運転

■ 据付工事後、次の手順で確認してください。

	手 順	確 認 内 容	チェック
1	電源電圧を確認する	100Vを使用していますか?	
2	漏電しゃ断器を「入」にする	漏電しゃ断器が「入」になっていますか?	
3	電源スイッチを「入」にする	電源ランプは点灯していますか?	
4	ヒータースイッチを「入」にする	ヒーターランプは点灯していますか?	
5	挿入部に手を入れる	温風が吹き出していますか?	
6	手を入れたまま風量ボリュームを回す	温風の風量が変わりますか?	
7	据付けのチェックをする	本体の据付けが確実で、振動・異常音はありませんか?	

※手を入れた状態で電源スイッチを「入」にしない。

※電源ランプだけが点滅状態のときは、いたずら防止タイマーが作動しています。電源スイッチを一旦「切」にし、1秒以上あとに再度「入」にして試運転をしてください。

## 6.お客様への説明

付属の取扱説明書にもとづいて、正しい使いかたをお客様に説明してください。

とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので、必ず守るよう説明してください。

- この据付工事説明書は、据付け後付属の取扱説明書および保証書とともに必ずお客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。